



自然体験活動上級指導者

NEALインストラクター養成事業 報告書

NEAL
インストラクターとは？

自然体験活動プログラムの
企画・実践者となることに、
NEALリーダーの指導を担う指導者です。

【想定される主な役割】

- ①プログラムの企画・運営。
- ②プログラムの直接指導。
- ③プログラムの安全管理。
- ④リーダーに対する指導や指導方針の共通理解を図る。



青少年教育施設や野外活動施設の職員、
大学生ボランティア、民間団体等、計16名
の方にご参加いただきました！！

会場 | 国立淡路青少年交流の家

日程 | 令和3年2月22日(月)～2月24日(水) <2泊3日>



講義 「学校教育における体験活動」「自然体験活動の特質」
講師 大本 晋也 (国立淡路青少年交流の家 所長)

ワークショップを通して、現代の子どもたちを取り巻く環境や課題、体験活動の可能性や重要性について理解を深めました。また、国立施設で取り組まれている事業事例の紹介を通して、自然体験活動に求められる要素について学びました。



講義・演習 「対象者理解」
講師 榎本 英樹 (NPO法人生涯学習サポート兵庫 冒険プログラムプロデューサー)

参加者同士の「遊び」やワークショップを通して、配慮が必要とされる対象者への接し方や大切にしたい心構えについて学びました。また、後半は身近な事例をもとに配慮が必要な対象者への支援方法や支援グッズについて考えました。



講義・実技 「自然体験活動の安全管理」「自然体験活動の技術」
講師 三浦 正純 (神戸市立自然の家 ゼネラルマネージャー)

安全管理に関する基礎を再確認する講義のあと、コロナ禍および災害時の要素を取り入れた野外炊爨を通して、安全管理と技術を実践的に学びました。その後、安全管理の在り方について振り返りを行い、指導者に求められるリスクマネジメントの姿勢や技術の活用方法について理解を深めました。





講義「自然体験活動の企画・運営」「自然体験活動の指導」
講師 西村 典芳（関西国際大学 教授）
三浦 正純（神戸市立自然の家 ゼネラルマネージャー）

自然体験活動の企画の考え方について講義を受けたあと、1人1本の企画作りにチャレンジしました。作成した企画は、講師との度重なる面談によりブラッシュアップされていきました。参加者の課題意識やバックボーンが異なる中で様々な観点からの企画のタネが生まれました。なかなか考えが上手くまとまらず、苦労する参加者もいましたが、最後には全員で発表し、フィードバックを行いました。

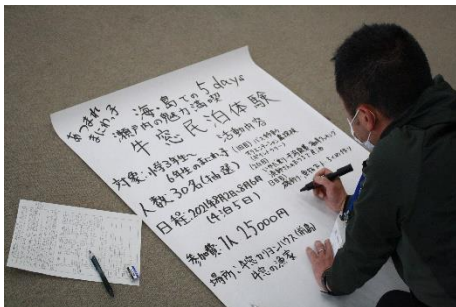


／ 受講者の声 ／

子どもの限界を大人が決めずに、子どもの**可能性を信じて**待つ姿勢や関わり合う姿勢の大切さを感じました。
(40代 女性)



なぜ伝わらないの「だろう」ではなく、**自分とは異なる考え方や感じ方なの「かもしれない」**という疑問をもつ大切さを学びました。
(20代 女性)



これまで、こんなに真剣に企画を練ったことはありませんでした。食事を後回しにしても企画を練る苦しさや楽しさを味わえ、良い経験になりました。
(20代 男性)

頭を悩ませ、苦しむこともありましたが、**形だけの研修ではなく、本当に身になる3日間でした。** (40代 男性)

【お問い合わせ】
国立淡路青少年交流の家

TEL 0799-55-2696 FAX 0799-55-0463 E-mail awaji-senmon@niye.go.jp

【講習情報・自然体験活動指導者について】
全国体験活動指導者認定委員会 自然体験活動部会

<https://neal.gr.jp/index.html>

本事業の詳しい
内容はコチラ！

